

## 目には見えない力について

オーストラリアで留学していた頃の話。「英語力をガンガン高めて、これからの英語教育で必要なスキルを身につけて、これからの学校経営について学ぶんだー！」と意気込んで、僕はオーストラリアに単身で飛び込みました。英語力にもそこそこ自信もあったので、大学での勉強も不安はあれど、きっと大丈夫だろうと思っていました。実際にペーパーテストではクラスでも上位に入ることができました。「どうだ、俺の英語力！すごいでしょ？」と得意げになったその鼻は、授業で見事にへし折られることとなります。授業中のディスカッション、討論、ディベートの際に、他の生徒に全くついてけません。「Takaはどう思う？」「Takaの意見を聞かせてよ？」と言われるたびに、ごにょごにょとごまかす始末……。プレゼンテーションで堂々と楽しそうに話す友達の姿を見て、僕は自分の能力の低さを痛感しました。それぞれの国における社会課題に対して、みんなそれぞれ自分の意見を持っている。そして、それを解決するために何をしていきたいのかという明確な意志を持っている。そのために、どんなことをすべきかを自分で考え、具体的な行動につなげている。そんな彼らの姿を見た時、「俺がやってきた勉強ってなんだったんだろう……」「テストしかできねえ……」「根本的に俺とあいつらはやってきたことが違うんじゃないのか……」日本で築いた自信は地に落ちました。英語があまり話せなくて自己表現ができないと同時に、自分の意見や意思を持たない日本人の一人なのだと痛感しました。

このような経験をする人は決して少なくありません。留学あるあるかもしれません。しかし、なぜ、こんなにも違うのか。点数で表される知識の量ではなく、点数ではなかなか見えにくく、捉えどころのない何かがある彼らにはありました。これが、いわゆる非認知能力と言われるものです。近年、ようやく日本でも非認知能力の重要性について認識が高まりつつあります。以下を参考にしてください。

非認知能力は、テストなどで数値化されない能力のことを指します。大きく分けて3つ：最後までやり抜く力・コミュニケーション能力・感情をコントロールする力。数値化するのは難しいですが、私たちが豊かな人生、豊かな未来を生きる上では、知識以上に重要な能力といえます。また、一見すると、真逆の性質を持つように感じられる認知能力と非認知能力ですが、実は表裏一体であり、「非認知能力が高いと認知能力も高まる」という研究報告もあります。非認知能力の種類として

- ・ クリエイティビティ（0から1を生み出す力・工夫する力）
- ・ 対応力（失敗から学びを得る力・応用する力）
- ・ 意欲（やる気・モチベーション）
- ・ 自己認識（自分を信じる力・自己肯定感）
- ・ メタ認知（客観的思考力）
- ・ 社会的能力（人と協力する力・リーダーシップ） など



さらに、こうした非認知能力は、以下のことに大きな影響を与えられています。

### （1）自己肯定感

ありのままの自分を受け入れ、承認することができる姿勢です。人生でもっとも大切なことです。自己肯定感が高いと、困難に直面しても、諦めずにチャレンジし続ける力にもつながります。

### （2）コミュニケーション能力

社会性が高く、自己理解と他者理解ができている人は、コミュニケーション能力が高くなります。共感力ともいえるかもしれません。こうした力が、対話力、人間関係構築力にもつながるのではないかと考えられます。

### （3）積極性

非認知能力の中の意欲が高い人は、新しいことへのチャレンジ、困難をなんとかして乗り越える、失敗しても諦めないというような積極性が養われます。うまくいかなくても、なんとかして乗り越えようとしています。

なるほど。彼らにあって、自分にはなかったものがなんとなくわかるような気がします。本校の生徒のみんなもきっと共感するところもあると思いますが、ご安心ください。非認知能力は伸びます。伸び続けます。日常的に少しだけ意識を変える、ちょっと視点を変えることにより、非認知能力は伸ばすことができます。具体的な方法については、また今度お話ししますね。

## 文化祭2023を開催しました

今年から春に行っていた文化祭を秋に移し、3年生が主役であった文化祭は1・2年生が中心となっていくものに切り替わりました。そして今回は御殿場西高校史上初めての一般公開を実施。保護者の方による模擬店、自衛隊の特設ブース、ふじさんGOGO FMによる音響サポートなど、たくさんの方々にサポートしていただき、今回の文化祭を実施することができました。ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

さて、今回の文化祭で印象的だったシーン。ダンス部のステージパフォーマンスの際、3年の増淵さんが素晴らしいダンスを披露していました。その姿、一緒に踊る長田先生、応援するダンス部のみんな、そしてステージの下から声援を送るみんなの姿。その光景を見て、僕は涙が出てしまいました。素敵なシーンだったなーといまだに思い出すと胸が熱くなります。

今年の文化祭は春と秋で2回実施しました。一般公開もしました。ここからがスタートだなと感じます。もっともっと生徒主体、もっともっと文化祭に来てくれたゲストを楽しませられるように、そしてもっともっと一人ひとりの「出番」に溢れた文化祭を作っていけるようにしましょう。それを作るのは先生たちではなく、みなさん自身です。



## 「夢見る小学校」上映会開催

10月28日(土)御殿場西高等学校保護者会が主催となり、映画「夢見る小学校」の上映会が開催されました。たくさんの保護者の方のご参加と、一般の方々のご参加をいただき、大変盛況となりました。映画の舞台である「きのくに子どもの村学園」「伊那市立伊那小学校」「世田谷区立桜ヶ丘中学校」の3校の、自由な学びの姿や、子どもたちの生き生きとした姿に、私もさまざまなことを考えさせられる機会となりました。学びってなんだろう、先生ってなんだろう、学校ってなんだろう、教育ってなんだろう……。上映後のお話会でも、いろいろな話を保護者の皆さんとすることができ、大変有意義な時間となりました。こうした上映会等を今後も開催し、みんなで一緒にこれからの生徒たち、本校の未来について考えていけたらと思います。



## みんなの「居場所」がまた一つ

「居場所」と「出番」を創り続けていく学校を御殿場西高校は目指しています。家でも教室でもなく、第3の居場所が学校の中にたくさんあったら素敵ですよね。ということで、学生ホールのテラスに机(ACから移動したもの)とグリーンカーテンを設置してみました。机の移動やグリーンカーテンの設置を手伝ってくれた野球部3年生のみんな、ありがとう。おかげでまた一つ素敵な場所ができました。これからの季節にはやや涼し目な場所ですが、たくさんの生徒たちに使ってもらいたいと思います。早速、昼休みや放課後に使っている人もちらほら。



## 保護者の皆様へ

いつも本校の教育活動にご理解をいただき、さまざまな形でご協力をいただき、誠にありがとうございます。11月となり、3年生はいよいよ進路決定のとても大切な時期に入っています。連日、面接練習、プレゼン練習、入試問題の質問に、多くの生徒たちが職員室を訪れています。2年生は一足先に、定期テストを実施しており、12月4日からの修学旅行がいよいよ目前に迫ってきました。久しぶりの海外修学旅行ということで、十分な準備をした上で参加してほしいと思います。

少し個人的な話ですが、先日3歳になる息子が、外出から帰った際に、靴を揃えました。やれと言ったことは一度もありませんでしたが、僕のやることを見ているんだなと感動した瞬間でした。こうして子どもたちは常に大人から学び、成長していきます。本校の生徒たちもそうだと思います。日々の関わり合いの中で、いろいろなことを感じ、真似し合いながら、少しずつ大人になっていくのだと思います。それをちょっと後ろから見守っていきましょう☆

